

施工説明書

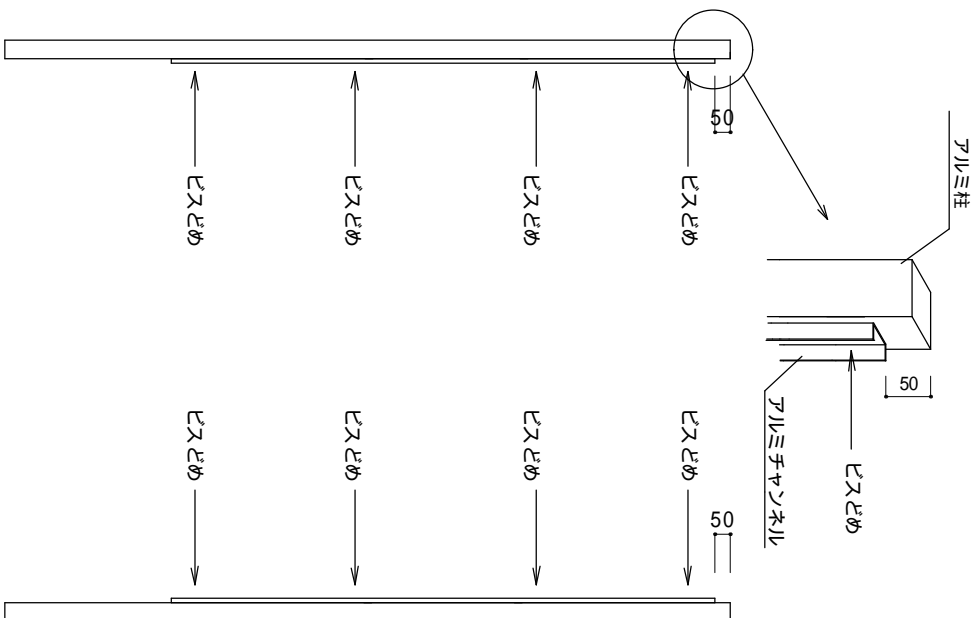
大津垣 H=1800の場合

(茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します)

株式会社エクススタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533

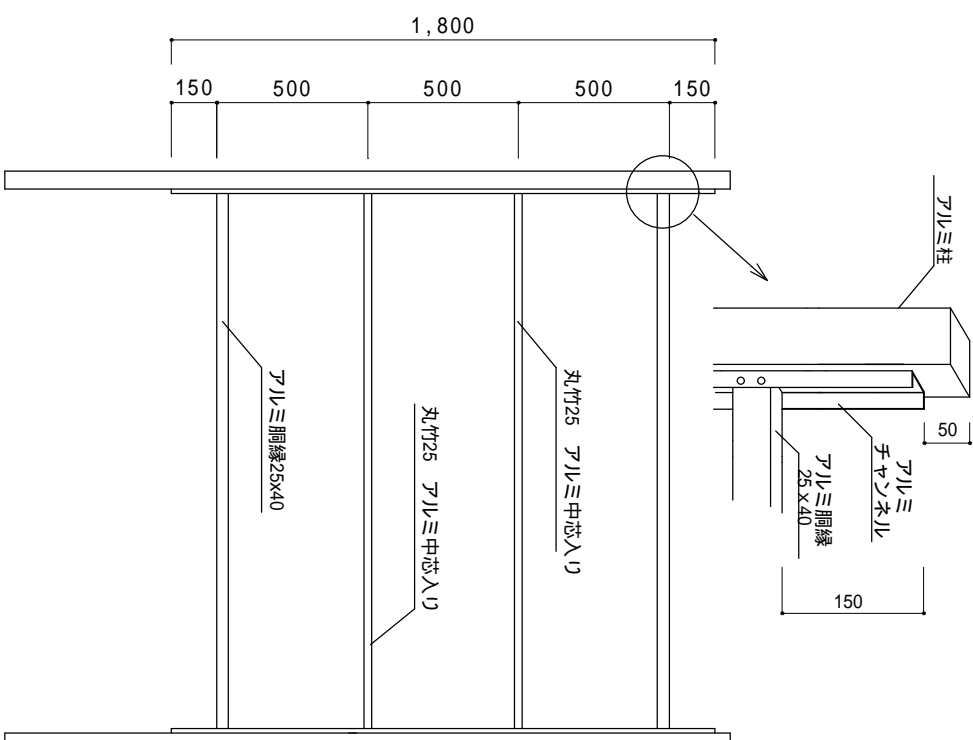


アルミ柱にチャンネルを取り付ける。

アルミ柱の上面から50mmさがった所にC型チャンネルを取り付けます。

H=1800の場合、チャンネル1本につきビスどめ4ヶ所です。

4×16(110-)ビス使用



チャンネルにアルミ胴縁25×40と丸竹25 を取り付ける。

チャンネルの上面から150mm下がった位置にアルミ胴縁25×40をビス止めします。

さらにチャンネルの下面から150mm上がった位置にアルミ胴縁25×40をビス止めします。

中2段はアルミ胴縁を使わず、丸竹25 の中にアルミ芯を入れたものを使います。

アルミ胴縁は表側と裏側から2本ずつビスどめします。丸竹25 は表側と裏側から1本ずつビスどめします。 4×16(110-)ビス使用

注：アルミ胴縁とC型チャンネルの間に隙間が出ないようにビスどめして下さい。

施工説明書

大津垣 H=1800の場合

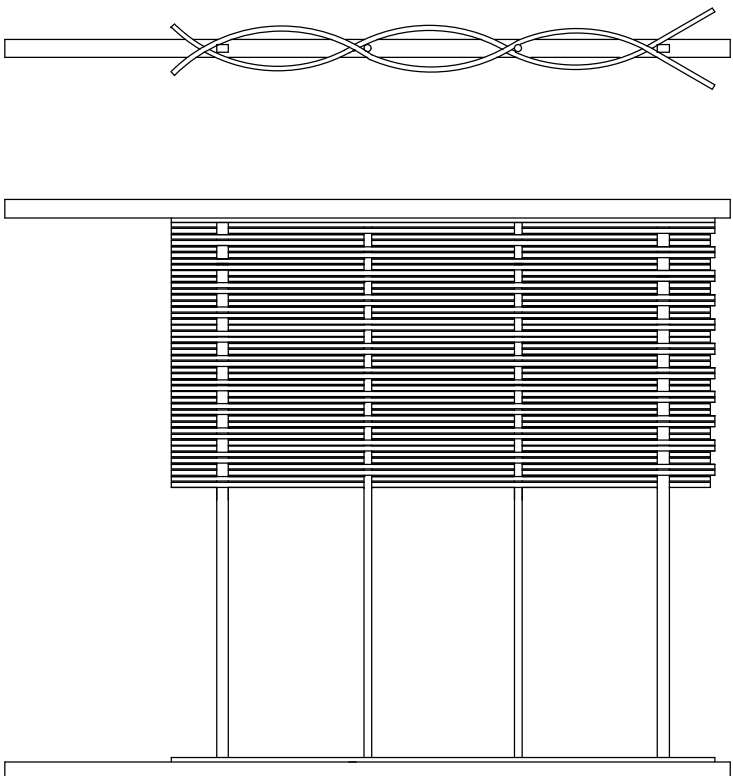
(茶竹仕様の場合、ピスはすべて茶色を使用します)

株式会社エクスタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533

断面図

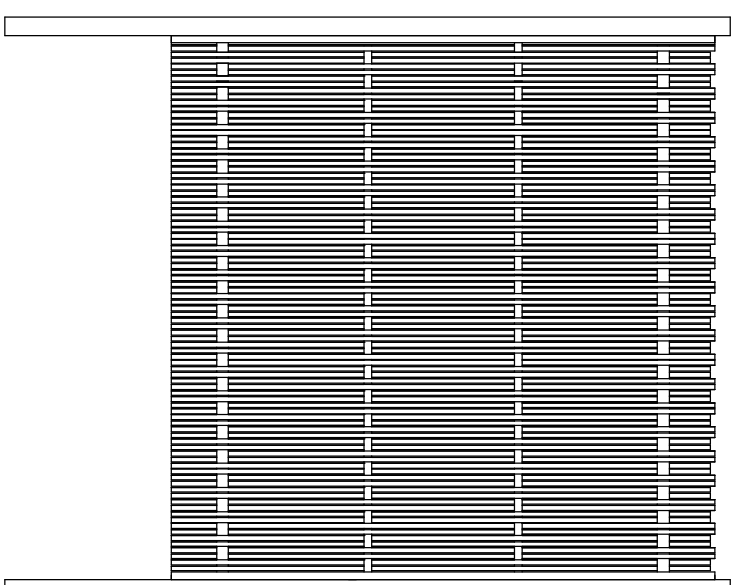
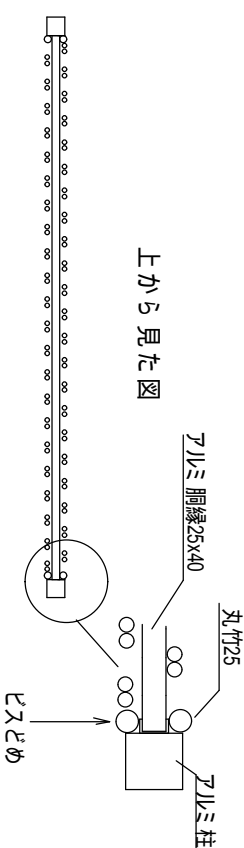


丸竹16 を組み込む。

丸竹16 を編み込むように入れていきます。(断面図参照)

エクスタイルの場合、2本ずつ交互に組み込むのが標準です。

注：丸竹16 は曲げながら組み込んで下さい。



チャンネルの上に丸竹25 をピスどめする。

両端のアルミチャンネルの上に丸竹25 を取り付けます。

チャンネルを隠すようにピスどめして下さい。

4x 35(黄)ピス使用

施工説明書

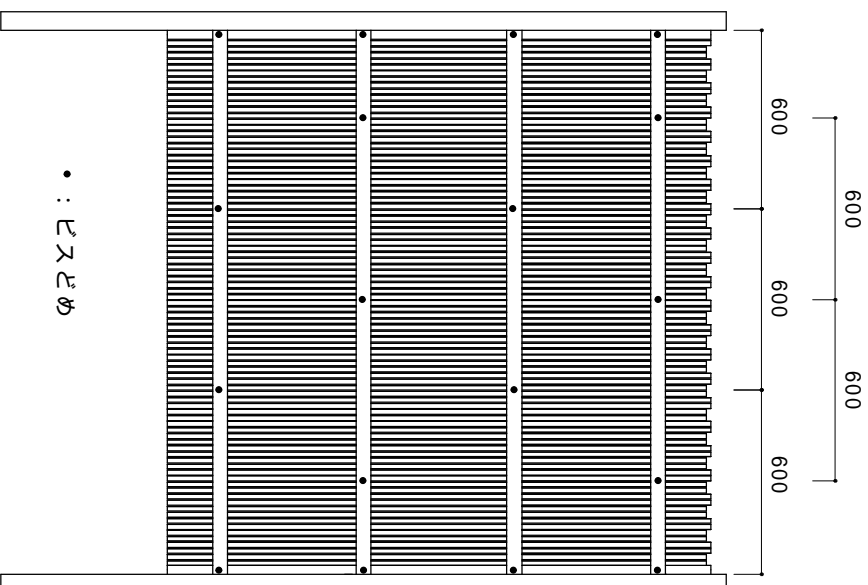
大津垣 H=1800の場合

(茶竹仕様の場合、ピスはすべて茶色を使用します)

株式会社エクススタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533



割り竹50を取り付ける。

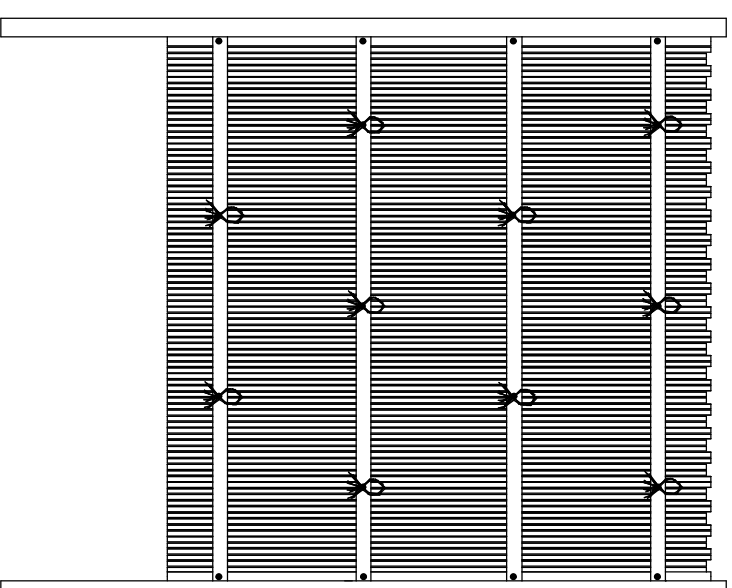
アルミ胴縁、丸竹25（アルミ中芯入り）の上から割り竹50をピスどめします。

ピスの位置は600mm間隔が標準です。

裏側も同様に割り竹50をピスどめして下さい。

4×50(110-) 4×35(110-)ピス使用

注：割り竹50の両端は必ずピスどめして下さい。



人工棕櫚縄で縛る

割り竹50を固定したピスの上から化粧結びをします。

人工棕櫚縄の切り口は、バーナー等で少し熱を加えるとほぐれ防止できます。

最後に丸竹キヤツプ、柱キヤツプをして完成です。

棕櫚縄の結び方は、別紙参照